

鉱物・岩石・宝石の調べ方

～山梨県編～

2007.5 山梨県立図書館



鉱物・岩石について調べる

1. 鉱物・岩石について調べる

step1 山梨県の鉱物・岩石について書かれた資料を見てみましょう

山梨県内で見られる鉱物、岩石などについては、次の図書で調べることができます。

『山梨の奇岩と奇石』（石田高著 山梨日日新聞社 2002）

山梨県の鉱物、岩石などのうち、特別な形をもつ55点について地域ごとに紹介しています。索引があり、「七里岩」などの呼び名から調べることができます。山梨県の鉱山・石材採掘地・化石産地の分布図、地質図付き。

『山梨の自然をめぐって』（西宮克彦編著 築地書館 1984）

山梨県の地質的な特性、岩石・鉱物について、地域ごとに紹介しています。岩石や鉱物、地形の名前などから探せる索引があります。

『山梨県地学のガイド 山梨県の地質とそのおいたち』（田中収編著 コロナ社 1987）

『山梨県統計書』（山梨県）～昭和49年刊行

鉱種、採掘量、鉱業権者、従業員数などを調べることができます。

step2 市町村誌（史）を見てみましょう

地域ごとの鉱山の歴史や採掘できる鉱物・岩石の種類などが調べられます。

例えば……

『下部町誌』 湯の奥金山、川尻金山、栃代金山、満福鉱山、常葉鉱山

『早川町誌』 保金山、土ノ小屋鉱山、茂倉鉱山、大島金山、西之宮金山、奥沢金山、稲又金山、遠沢金山、広島金山、ねぢ切り金山

『都留市史』資料編（近現代）

『三菱社史』宝鉱山関係資料（明治36年～昭和5年）

step3 民話や伝説を調べてみましょう

特別な石や御神体となっている岩などの由来を調べることができます。

『山梨県の民話と伝説』(土橋里木著 有峰書店 1979)

「甲斐の伝説覚書 2 石の伝説」に県内の石にまつわる伝説の概要が載っています。

『甲斐の伝説』(土橋里木編著 第一法規 1975)

「石の伝説」の章があります。巻末には地域別の索引が付いています。

『山梨の伝説』(山梨国語教育研究会編著 日本標準 1979)

「ひとくち伝説」の章に、石に関する伝説が収録されています。



『甲斐路』に収録されている関連論文



31号「宝鉾山」(篠原博著)

2. 金山について調べる

山梨県は鉾脈に恵まれ、戦国時代から金の採掘が行われていました。金山については、次の資料にまとめられています。

『湯之奥金山遺跡の研究』(湯之奥金山遺跡学術調査団編 湯之奥金山遺 1992)

『甲斐黒川金山』(黒川金山遺跡研究会編 塩山市 1997)

金山の遺跡・歴史の総合調査報告書です。多くの図版を用いて解説しています。

『戦国武田の黒川金山 多摩川源流の黄金境』

(大藪宏著 山梨日日新聞社出版局 1995)

黒川金山の歴史と伝説についてのユニークな著作で、読み物としても楽しめます。

『戦国金山伝説を掘る』(今村啓爾著 平凡社 1997)

1986年から1989年にかけて4回の現地調査を行い、黒川金山の始まり、採掘・製錬の技術、鉾山町の構造・規模などについて書かれています。巻末には「黒川金山関係年表」が収録されています。

『黒川金山史料』(黒川金山遺跡研究会編 塩山市教育委員会 1991)

黒川金山に関する文書史料集です。

『金山史研究』(甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 年刊)

湯之奥金山博物館の研究成果をまとめた雑誌です。山梨県の金山および甲州金についての論文が多数掲載されています。

『図説山梨県の歴史』(磯貝正義編 河出書房新社 1990)

甲州の金山稼業復元図、砂金と山金の採集の工程が絵入りで解説されています。

黒川金山・再興の試み

江戸から明治にかけて何度か金山の再興が試みられました。その中でも、相当な資本を投入して大規模に採掘したのが、明治39年頃設立された「黒川金山株式会社」でした。この会社の発行した資料には、次のようなものがあります。

- 『黒川金山株式会社趣意書』 『黒川金山株式会社定款』
『甲斐黒川金山株式会社起業目論見書』 『黒川金山調査報告書』



『甲斐路』に収録されている関連論文



- 20号「甲州金の歴史」(入江芳之助著)、「甲州金など」(小山田了三著)
51号「金山衆「金山之佐渡守考」」(清雲俊元著)
58号「黒川金山衆の信仰」(清雲俊元著)

関連機関の紹介

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館

http://www.town.minobu.lg.jp/local_minobu/kinzan/index.html

南巨摩郡身延町上之平 1 7 8 7 番地先 TEL:0556-36-0015

戦国期に栄えた湯之奥金山の様子と歴史を学ぶことのできる体験型博物館です。



郷土の資料以外にもこんな資料があります



- 『日本鉱山史の研究』(小葉田淳著 岩波書店 1987)

丹念な史料調査をもとにまとめた、日本鉱山史についての最も権威ある研究書です。 章「甲斐・信濃・駿河の金山 - 武田時代の稼行を中心に - 」で、山梨県の金山史についてまとめています。



宝石について調べる

1. 水晶について調べる

- 『水晶』(山梨県水晶商工業協同組合編 山梨県水晶商工業協同組合 1952)

水晶加工業の歴史から昔話、民話にいたるまで幅広く取りあげています。

- 『水晶宝飾史』(篠原方泰編 甲府商工会議所 1968)

水晶の歴史を詳しく解説しています。巻末には、水晶宝飾史略年表があります。

- 『水晶ものがたり』(大森文衛著 大森昭次 1971)

山梨県の水晶宝飾産業の歴史について、工芸職人に焦点をあてて紹介しています。

『山梨大学 水晶展示室』(山梨大学 2005)
水晶採掘史・加工史の他に収蔵品の抄録が載っています。

2. 宝飾産業について調べる

step1 地場産業関係の資料を調べてみましょう

宝飾産業は山梨県の地場産業です。次の資料で調べられます。

『甲斐路ふるさとの特産』(山梨県編 山梨日日新聞社 1983)

研磨宝飾や甲州水晶細工の歴史や特徴について記されています。

『山梨100選』(山梨日日新聞編集局編 山梨日日新聞出版部 2001)

「山梨100選」は、山梨を代表する自然、伝統工芸など100点を2001年1月に選定したものです。100選の中には「研磨宝飾品」も含まれています。

『山梨県地場産業センター』(<http://www.kaiterasu.jp/index.html>)

「山梨県の地場産業製品」を紹介するページがあります。

『山梨県の郷土伝統工芸品』(<http://www.pref.yamanashi.jp/shouko/kogyo/densan>)

水晶細工や宝飾産業の歴史や特徴について掲載されています。

step2 宝飾関係の資料を調べてみましょう

『山梨県貴金属工芸協同組合名鑑 1972』(山梨県貴金属工芸共同組合 1972)

山梨県の貴金属工芸の歴史について詳細に記しています。

『YJA40年のあゆみ 人に、夢に輝きつづけて』(山梨県ジュエリー協会 1993)

山梨県の宝飾産業の歴史について詳細に記しています。

『特集日本の宝飾 山梨』1, 2 (新装飾編 新装飾 1979, 1981)

山梨県の宝飾産業の歴史について、水晶史、県内大学での研究など様々な視点から解説しています。

『山梨県ジュエリー協会50年のあゆみ』(山梨県ジュエリー協会 2004)

昭和28年の設立からの組合の内容・規模の変遷、事業が年表形式で記されています。

『山梨研磨宝飾新聞』(山梨研磨宝飾新聞社 月刊)

宝飾産業界の専門誌です。県内業界の最新動向を知ることができます。

関連機関の紹介

協同組合 山梨県ジュエリー協会 <http://www.j-gate.net/~yja/>

山梨県甲府市若松町4 - 5 TEL:055-232-7571

県内ジュエリーメーカーで組織された協会です。

サイトでは、山梨県の宝飾産業史やメーカーについて調べることができます。

また、県内の宝飾産業関係のサイトへのリンクも充実しています。

山梨県水晶美術彫刻協同組合 <http://www.suishou.jp/>

山梨県東八代郡石和町四日市場1 5 6 9 TEL:055-263-6951

歴史、製造工程、会員の紹介などを調べることができます。

山梨大学水晶展示室

山梨県甲府市武田4 - 4 - 3 7 TEL:055-220-8006

入館料：無料 開館時間：8:30～17:30

休館日：土・日・祝日及び12月29日～1月3日

山梨宝石博物館 <http://www.gemmuseum.jp/>

山梨県南都留郡富士河口湖町船津6 7 1 3 TEL:0555-73-3246

入館料：大人600円、子供（小中学生）300円

開館時間：9:00～18:00（3～11月）、9:00～17:00（12～2月）

休館日：毎週水曜日（祝日の場合は開館）